報道関係各位

SMART PLUS 証券

2026 年 5 月 19 日
株式会社スマートプラス
株式会社 Finatext ホールディングス

r-Laboratory 株式会社がスマートプラスの「DWM」を採用して 厳選ファンドによる投資信託販売サービスを開始

～「r（資本所得）」を日本の家計に届けるというミッションのもと、自社ブランドで長期資産形成の支援を実現～

次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループの株式会社スマートプラス（本社：東京都千代田区、代表取締役：小林 紀子、以下「当社」）は、r-Laboratory 株式会社（本社：神奈川県横浜市中区、代表取締役：中澤 宏紀、以下「r-Laboratory」）が、当社の証券取引プラットフォーム「Digital Wealth Manager（デジタル ウェルス マネージャー、以下「DWM」）」を採用したことをお知らせします。r-Laboratory は、「DWM」上で厳選した世界株式ファンドを中心とした投資信託の販売サービスを開始しました。

■ 採用の背景と狙い

新 NISA の開始を契機に資産形成への関心が高まる一方、「投資はむずかしい」「うまくいかなかった」という声は依然として多く、世界の上場企業が生み出す資本所得（r）が日本の家計に十分に届いていない課題があります。r-Laboratory は、この課題を解決すべく「r を家計に届けるエコシステムを構築する」をミッションに、老後資金や子どもの学費といった長期ゴールの実現を支援する IFA 法人として設立されました。

同ミッションの実現に向けて、r-Laboratory は顧客の長期資産形成を支援できる優れた証券取引プラットフォームを検討してきました。その結果、高いカスタマイズ性と自社ブランドでのサービス展開を可能にする「DWM」が最適と判断し、採用に至りました。

■ 「DWM」の選定理由

r-Laboratory が「DWM」を評価したポイントは、主に以下の 2 点です。

具体的には、r-Laboratory が厳選したファンドのみを顧客に提示する仕組みを実装できる点が重要な要因の一つとなりました。長期資産形成に適したファンドを精査し、顧客に最適な選択肢のみを提供するという同社の方針を、プラットフォームレベルで実現できます。

また、所属証券会社のブランドが前面に出るのではなく、r-Laboratory 独自のブランドとしてサービスを提供できる点も評価されました。顧客との長期的な信頼関係を構築するうえで、IFA 法人としての独自性を発揮したサービス展開が不可欠であると判断したためです。

■ 提供するサービスの概要

r-Laboratory が独自の選定基準に基づき厳選した世界株式ファンドを取り扱います。新 NISA 制度のつみたて投資枠・成長投資枠の両方に対応しており、顧客の長期的な資産形成ニーズに応じて非課税制度を最大限に活用したサービス提供が可能です。

本投資信託販売サービスでは、r-Laboratory が投資信託販売の媒介を行い、当社は証券口座管理、投資信託取引の執行を担います。

なお、本件による業績への影響は軽微であります。

以 上

【Finatext グループと株式会社スマートプラスについて】

Finatext グループは、「金融を“サービス”として再発明する」をミッションに掲げ、次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現するフィンテック企業グループです。金融サービスのあるべき姿をユーザー視点から見直し、パートナー事業者と共に新しい金融サービスを開発する「株式会社 Finatext」、オルタナティブデータ解析サービスの「株式会社ナウキャスト」、証券ビジネスプラットフォームを提供する「株式会社スマートプラス」、次世代型デジタル保険の「スマートプラス少額短期保険株式会社」、貸金サービスに必要なシステムや業務を一気通貫で提供する「株式会社スマートプラスクレジット」といった事業会社を擁し、「金融がもっと暮らしに寄り添う世の中」の実現を目指しています。

会社名	：	株式会社 Finatext ホールディングス
代表者	：	代表取締役社長 CEO 林 良太
証券コード	：	東証グロース市場 4419
設立	：	2013 年 12 月
所在地	：	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
公式サイト	：	https://finatext.com/

■株式会社スマートプラス

株式会社スマートプラスは、証券ビジネスプラットフォーム「BaaS（バース）：Brokerage as a Service」を軸に、事業者による自社顧客向け証券サービスの提供を支援するフィンテック企業です。次世代金融インフラの提供を通して組込型金融を実現する Finatext グループにおいて、証券領域における金融インフラストラクチャ事業を担っています。

会社名	：	株式会社スマートプラス　金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3031 号
代表者	：	代表取締役 小林 紀子
設立	：	2017 年 3 月
所在地	：	東京都千代田区九段北一丁目 8 番 10 号 住友不動産九段ビル 9 階
事業内容	：	金融商品取引業
加入協会	：	日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、 一般社団法人資産運用業協会
公式サイト	：	https://smartplus-sec.com/

商号等：株式会社スマートプラス
金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第 3031 号
加入協会：日本証券業協会・一般社団法人資産運用業協会・一般社団法人第二種金融商品取引業協会

＜重要事項＞
■口座開設・お取引に関するご留意事項
・スマートプラスでお取引いただくこととなった際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。
・投資信託のお取引についても基準価額の下落等により損失が生じる恐れがあります。

・当社における各種口座開設に際しては当社所定の審査があります。
・資料等の中で個別銘柄が表示もしくは言及されている場合は、あくまで例示として掲示したものであり、当該銘柄の売買を勧誘・推奨するものではありません。
・お取引に際しては当社から交付される契約締結前交付書面、目論見書その他の交付書面や契約書等をよくお読みください。